

越前おおの型 食・農業・農村ビジョン推進委員会
大 野 市 食 育 推 進 会 議
次 第

令和8年8月28日（金）
午前10：00～
市役所1階 第1・2会議室

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

（1）ビジョンの取組状況について 資料1

（2）農業・食育に関する新たな計画（素案）について 資料2・3

（3）その他

4 閉会

○数値目標

指 標	内 容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
学校給食で地場産野菜の提供を行った量	学校給食における食材の総使用量(重量)に占める地場食材(市産)の使用量の割合(11月調査)	26.5	24.1	21.5	20.8	18.2	19.3	33	%

※大野市内の学校給食における地産地消の取り組み成果を示します。

指 標	内 容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
地場産野菜を使用している飲食店数の割合	地場産野菜を使用している飲食店(注)の割合	－	55.3	44.2	57.9	－	調査中	100	%

(注)大野商工会議所に飲食店として登録されている店舗(令和4年1月現在37軒)

※大野市内の地産地消の取り組み成果を示します。

指 標	内 容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
大野市道の駅産直の会農林産品部会加入件数	出荷を目的に農林産物の生産に取り組む農業者及び農業者グループ数	(10月末現在) 126	117	119	122	114	112	131	件
「うごく八百屋おおのさん」参加生産者数(累計)	出荷を目的に農林産物の生産に取り組む農業者数	(10月末現在) 135	135	140	143	146	149	145	人

※大野市内の農林産物(出荷を目的とする)の生産者数を増やす取り組み成果を示します。

指 標	内 容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
サトイモの作付面積	サトイモの作付面積	74	72	71	68	65	57	80	ha

※サトイモの産地としての取り組み成果を示します。

指 標	内 容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
スマート農業の導入を支援した件数	スマート農業の導入に際し補助を行った件数(累計)	5	5 (5)	9 (4)	14 (5)	21 (7)	27 (6)	30	件

※令和3年度補助件数を基準とし、スマート農業を推進する取り組み成果を示します。

()内はその年の実績

指 標	内 容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
福井県特別栽培農産物認証を受けた対象面積	福井県特別栽培農産物認証を受けた対象面積	364	385	361	388	382	460	420	ha

※環境調和型農業の取り組み成果を示します。

指 標	内 容	令和3年度 参考値	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
多面的機能支払交付金事業に取り組む集落数	地域ぐるみで農山村の維持管理に取り組んだ集落数の減少の抑制	101	101	100	101	101	101	101	集落

※地域ぐるみで行う農山村の維持管理への取り組みへの支援の成果を示します。

指 標	内 容	令和2年度 現状	令和3年度 実績	令和4年度 実績	令和5年度 実績	令和6年度 実績	令和7年度 実績	令和8年度 目標	単位
耕作放棄地の面積	毎年増加傾向にある耕作放棄地の発生の抑制	3.9	1.28	2.45	2.45	2.45	4.34	3. 6以下	ha

※優良農地の確保への取り組み成果を示します。

「食」分野

基本施策 1:生産者、食品関連業者と消費者が連携して地産地消を行います

個別施策名	関連する事業名	令和7年度(実施内容)	令和6年度(実施内容)
食の生産や流通、消費への関心を高め、地域の農業を応援する地産地消を推進します	おいしい大野米レベルアップ事業 ネットでおやさい発信事業 大野在来そばブランド化推進事業	●市内小中学校の米飯給食に、全量、大野産のコシヒカリやいちほまれを使用した。(使用玄米数量(俵 60kg) コシヒカリ 476俵 いちほまれ 43俵) ●「越前おおの新そばまつり」においてキャンペーンを実施し、麺類組合加盟店で利用できる商品券(1枚500円)を200枚配布し、大野在来そばの消費拡大を図った。	●市内小中学校の米飯給食に、全量、大野産のコシヒカリやいちほまれを使用した。(使用玄米数量(俵 60kg) コシヒカリ 407俵 いちほまれ 103俵)
地域の産業や環境を守るため、食の大切さを知り、自然の恵みや生産者への感謝の心を育みます	大野産野菜応援コンテスト 食守フェスタ	●食守フェスタにおいて、農産物を活用した減塩メニューを提供し、食と健康の大切さについて啓発を行った。	●「大野産野菜応援コンテスト」については、令和5年度にて事業を終了したため、令和6年度は未実施

基本施策 2:食にまつわる文化や教育を普及します

個別施策名	関連する事業名	令和7年度(実施内容)	令和6年度(実施内容)
地域や家庭、学校など「食育」を推進する担い手が、共通の認識を持ち、互いに協力しながら「食育」を実践します	食守フェスタ	●市民全体の「食育」意識を高めることを目的とした担い手の活動を促進し、食に関する活動の紹介や食育の啓発を行うため、食守フェスタを開催し、試食、パネル展示を行った。(パネル参加団体10団体、試食提供団体1団体、体験実施団体2団体、クイズラリー参加者180名)	●市民全体の「食育」意識を高めることを目的とした担い手の活動を促進し、食に関する活動の紹介や食育の啓発を行うため、食守フェスタを開催し、試食、パネル展示を行った。(パネル参加団体11団体、試食提供団体2団体、クイズラリー参加者231名)

「農業」分野

基本施策 3:魅力ある農業経営を実現します

個別施策名	関連する事業名	令和7年度(実施内容)	令和6年度(実施内容)
地域農業を支える担い手が、安定した農業経営ができるよう支援します	中山間総合対策支援事業 儲かるふくい型農業総合支援事業 小さな農業チャレンジ応援事業 意欲あるふくい畜産支援事業 特産作物生産体制強化事業 誰でも園芸チャレンジ事業 越前おおの型農業推進事業	●地域農業を支える担い手が、安定した農業経営ができるよう農業機械の購入費等を支援した。(件数 22件) ●条件不利農地の営農の継続するため、大野市地域農業サポートセンターを通じて認定農業者等のアグリサポーターによる農作業の応援を支援し、小區画農地の営農継続を図った。(対象面積 7,715.4a) ●農業用ドローン操縦者育成のため、免許取得や講習受講の費用を支援した。(件数 6件 15名)	●地域農業を支える担い手が、安定した農業経営ができるよう農業機械の購入費等を支援した。(件数 20件) ●条件不利農地の営農の継続するため、大野市地域農業サポートセンターを通じて認定農業者等のアグリサポーターによる農作業の応援を支援し、小區画農地の営農継続を図った。(対象面積 7,715.4a) ●農業用ドローン操縦者育成のため、免許取得や講習受講の費用を支援した。(件数 8件)
新規就農者や後継者の確保と育成に取り組むとともに、就農希望者の受け入れ体制づくりを支援します	新規就農者経営支援事業 未来に繋ぐふくいの農業応援事業	●新規就農者や後継者の確保と育成を図るため、国や県の補助を活用しながら新規就農者や経営継承者を支援した。(ハード:3件、ソフト4件【うち新規2件、継続2件】)。	●新規就農者や後継者の確保と育成を図るため、国や県の補助を活用しながら新規就農者を支援した(ハード:5件、ソフト4件【うち新規1件、継続3件】)。
女性や高齢者など、誰もが生き生きと農業経営に参画できる環境づくりを進めます	みんなで園芸チャレンジ事業 越前おおの産農産物加工販売支援事業 越前おおの農林楽舎運営事業	●越前おおの農林楽舎にて、ブルーベリー栽培講習会の開催、ロゴマークデザインを活用したパッケージ等資材の調達を行った。 ●「越前おおの産農産物加工販売支援事業」については活用実績がなかった。	●「みんなで園芸チャレンジ事業」については令和5年度にて事業を終了したため、令和6年度は未実施 ●「越前おおの産農産物加工販売支援事業」については活用実績がなかった。 ●越前おおの農林楽舎にて、ブルーベリー栽培講座を2回開催した。(30人参加)
スマート農業の導入による経営の効率化を促進します	中山間総合対策支援事業 儲かるふくい型農業総合支援事業 未来に繋ぐふくいの農業応援事業	●スマート農業やデジタル技術の活用を支援するため、国や県の補助金を活用し、スマート農業関連機器の整備を費用面で支援した。(件数6件)	●スマート農業やデジタル技術の活用を支援するため、国や県の補助金を活用し、スマート農業関連機器の整備を費用面で支援した。(件数7件)

基本施策 4:特色ある越前おおの産農林水産物の生産や販売を振興します

個別施策名	関連する事業名	令和7年度(実施内容)	令和6年度(実施内容)
大野市の気候や風土に合った、農林水産物の生産を促進します	結の故郷特産作物産地ブランド力強化事業 環境保全型農業支援事業 クリーン農業スタート事業	●大野市の気候や風土に合った穴馬スイートコーンや穴馬かぶらなど特産作物の生産を促進するため、出荷奨励金などにより支援した。(穴馬スイートコーン13件、穴馬かぶら7件) ●化学合成農業や化学肥料の使用を低減し、生物多様性や環境保全に配慮した取り組みを行う農業者に対して支援を行った。(実施者 5団体、37名) ●農業分野におけるゼロカーボンに向けた取組として、バッテリー式刈払機および噴霧器の購入に対して補助金による支援を行った。(件数 刈払機30件、噴霧器19件)	●大野市の気候や風土に合った穴馬スイートコーンや穴馬かぶらなど特産作物の生産を促進するため、出荷奨励金などにより支援した。(穴馬スイートコーン13件、穴馬かぶら7件) ●化学合成農業や化学肥料の使用を低減し、生物多様性や環境保全に配慮した取り組みを行う農業者に対して支援を行った。(実施者 6団体、44名) ●農業分野におけるゼロカーボンに向けた取組として、バッテリー式刈払機および噴霧器の購入に対して補助金による支援を行った。(件数 刈払機39件、噴霧器11件)
農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組めます	越前おおの農林楽舎運営事業 おいしい大野米レベルアップ事業 大野在来そばブランド化推進事業	●農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組むため、越前おおの農林楽舎に委託し、実店舗での販売のほか、市外での商談やイベントへの参加、ECサイトなどのウェブを活用した情報発信、PR活動に取り組んだ。また、生産者楽習会を開催し、販売体制の維持・強化を図った。 ●農産物のブランド力向上を図るため、「越前おおの おいしいお米コンテスト」で金賞を受賞した米を越前おおの農林楽舎を通じて販売した。 ●そばの消費拡大を目的に開催した「越前おおの新そばまつり」では、二日間で約1万2000杯を販売した。	●農林水産物のブランド力の向上と販路拡大に取り組むため、越前おおの農林楽舎に委託し、実店舗での販売のほか、市外、県外のイベントやECサイトなどのウェブを活用した情報発信、PR活動に取り組んだ。 ●農産物のブランド力向上を図るため、「越前おおの おいしいお米コンテスト」で金賞を受賞した米を越前おおの農林楽舎を通じて販売した。 ●そばの消費拡大を目的に開催した「越前おおの新そばまつり」では、二日間で約1万800杯を販売した。
道の駅「越前おおの 荒島の郷」などでの販売、ふるさと納税の返礼品としての活用など多様な販売活動を促進します	越前おおの農林楽舎運営事業	●道の駅「越前おおの 荒島の郷」や道の駅「九頭竜」での販売、ふるさと納税などを活用して農林水産物の多様な販売活動を展開した。特に越前おおの農林楽舎の売上高は6,260万円となり、前年度に引き続き高い水準であった。	●道の駅「越前おおの 荒島の郷」や道の駅「九頭竜」での販売、ふるさと納税などを活用して農林水産物の多様な販売活動を展開した。特に越前おおの農林楽舎へ出荷され、左記施設等で販売された売上高は6,282万円となり、過去最高となった。
特産作物をはじめ園芸作物を生産する農業者の育成と支援に取り組めます	誰でも園芸チャレンジ事業 結の故郷特産作物生産体制強化事業 生分解性マルチ普及促進事業	●小規模農家が減少傾向にある中、特産作物を含む園芸作物を生産する農業者の育成と所得の向上、園芸作物の生産拡大を図るため、生産に必要な農業機械の導入に係る経費を支援した。(件数4件) ●里芋生産の省力化を図るため、生分解性マルチの導入補助を行った。(件数 41件 609本)	●小規模農家が減少傾向にある中、特産作物を含む園芸作物を生産する農業者の育成と所得の向上、園芸作物の生産拡大を図るため、生産に必要な農業機械の導入に係る経費を支援した。(件数8件) ●里芋生産の省力化を図るため、生分解性マルチの導入補助を行った。(件数 43件 697本)
アユなどの淡水魚の稚魚の放流や養殖を促進します	内水面漁業振興対策事業補助	●内水面漁業の振興および自然溪流の環境保全を図るため、漁業協同組合が実施したアユなど淡水魚の稚魚放流や養殖活動に対し、経費の一部を支援した。	●アユなど淡水魚の稚魚の放流や養殖を支援することで、漁業協同組合の取り組みを補助金により支援した。

「農村」分野

基本施策 5:多様な人材の活躍による農山村の維持と活性化を目指します

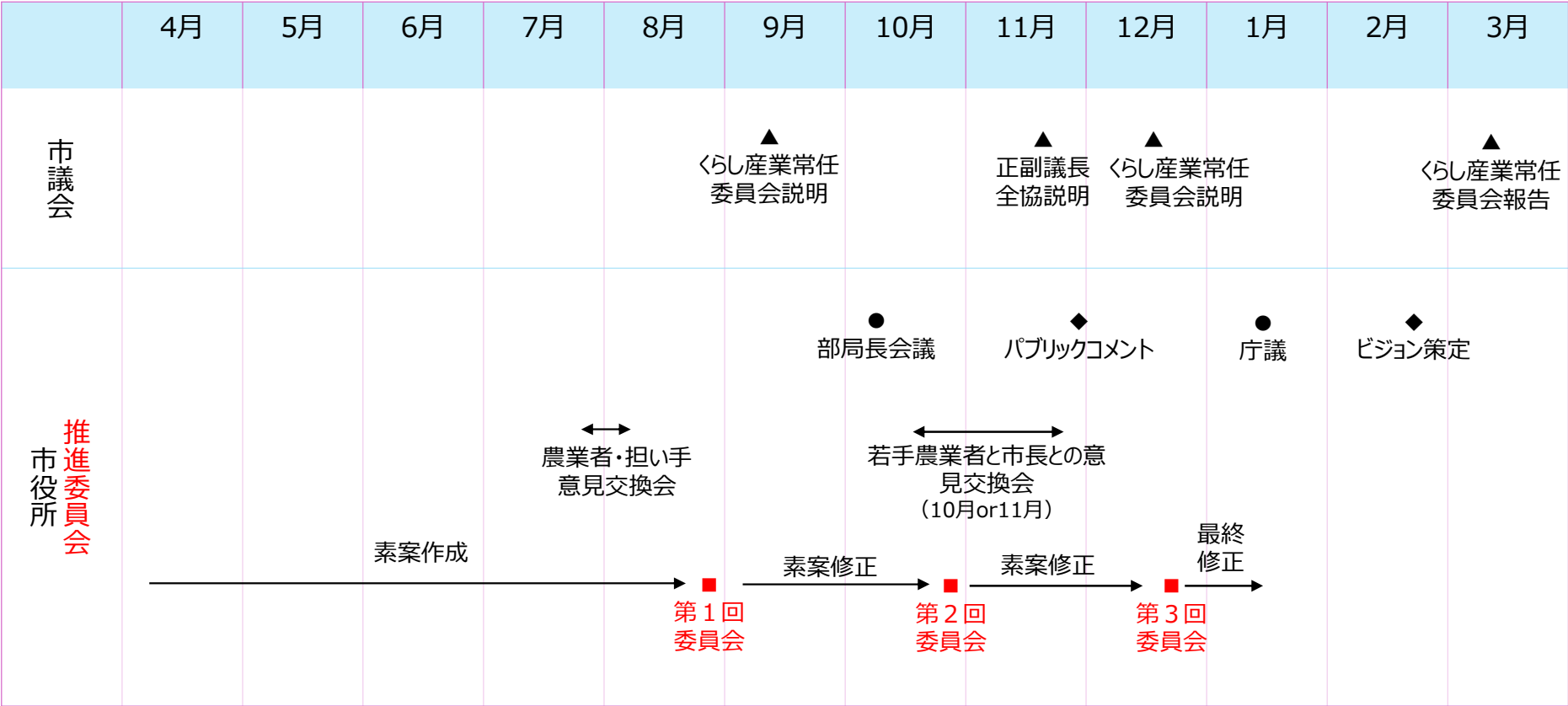
個別施策名	関連する事業名	令和7年度(実施内容)	令和6年度(実施内容)
若者や女性、非農家による活動など、農山村を守る多様な仕組みをつくります 各種支援制度により、誰もが農業を学び、触れ合える環境を整備します	多面的機能支払交付金事業 中山間直接等直接支払事業 みんなで野菜栽培レベルアップ事業 大野産野菜応援コンテスト(再掲) スターランドさかだに管理運営経費	●農業の有する多面的機能の維持や質的向上を図るため、各種支援制度により農地維持や資源向上などの共同活動や施設の長寿命化対策を支援した。また、持続的かつ活動内容の更なる質の向上を図るため、活動組織の広域化を推進した。(令和7年度活動組織 40組織101集落) ●中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の維持を図った。(令和7年度活動組織数 26組織:470ha) ●スターランドさかだにて、市民等がそば打ちを体験し、また、大野産のそばを食することができる場所を提供した。(利用者数:そば処3, 411人、そば打ち体験246人)	●農業の有する多面的機能の維持や質的向上を図るため、各種支援制度により農地維持や資源向上などの共同活動や施設の長寿命化対策を支援した。また、持続的かつ活動内容の更なる質の向上を図るため、活動組織の広域化を推進した。(令和6年度活動組織 45組織101集落) ●中山間地域等における耕作放棄地の発生防止と農業の多面的機能の維持を図った。(令和6年度活動組織数 27組織:481ha) ●スターランドさかだにて、市民等がそば打ちを体験し、また、大野産のそばを食することができる場所を提供した。(利用者数:そば処2,882人、そば打ち体験218人)
電気柵や電気ネットを設置するなど、地域ぐるみの鳥獣害対策に対し支援します	鳥獣害のない里づくり推進事業	●有害鳥獣による農作物等の被害を減らすため、電気柵などの施設整備を実施した地域や老朽化し更新が必要となった電気柵の更新した地域に対し、経費の一部を支援した。(新規2地区、更新2地区)	●山際及び河川において電気柵を整備することで、野生鳥獣による農作物の被害を防止する体制整備に向けた支援を行った。(新規:1地区、更新:1地区)

基本施策 6:農地の適切な管理と有効利用を図ります

個別施策名	関連する事業名	令和7年度(実施内容)	令和6年度(実施内容)
農業の担い手への農地の集約と集積を進めます	農地中間管理事業 農地パトロール	●農業委員会による農地パトロール等を実施することで、耕作放棄地の増加を防止した。また、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を進め、集積率は81. 6%となった。	●農業委員会による農地パトロール等を実施することで、耕作放棄地の増加を防止した。また、農地中間管理事業を活用し、担い手への農地集積を進め、集積率は80.5%となった。
各種支援制度により、農地の保全管理に取り組みます	多面的機能支払交付金事業(再掲) 中山間直接等直接支払事業(再掲) 地下水保全対策事業【環境・水循環課】	●冬期間の地下水位低下を緩和することを目的に、地下水涵養地域である小山地区や上庄地区で、10月から2月までの5ヶ月間、水田を借り上げて水田湛水を行っており、令和3年度から40haに拡大した冬期間の水田湛水を令和7年度も実施し、地下水の涵養を図った。	●冬期間の地下水位低下を緩和することを目的に、地下水涵養地域である小山地区や上庄地区で、10月から2月までの5ヶ月間、水田を借り上げて水田湛水を行っており、令和3年度から40haに拡大した冬期間の水田湛水を令和6年度も実施し、地下水の涵養を図った。
土地改良事業などによる持続可能な農業基盤の整備を促進します	県営土地改良事業負担金 団体営土地改良事業	●農業生産基盤を整備するため、下庄北部地区、上丁地区、大矢戸地区、牛ヶ原地区、大野阪谷2期地区、塚原第1-1地区、塚原第2地区、上庄大井1期地区、上庄大井2期地区の計9地区で行っている県営土地改良事業を支援した。 ●団体営土地改良事業では、右近次郎地区において、貯水池の改修工事に対し、支援を行った。	●県営土地改良事業では、下庄北部地区、大野阪谷2期地区、上庄大井1期地区、上庄大井2期地区、上丁地区の計5地区に対して用排水路等の整備支援を行った。 ●団体営土地改良事業では、牛ヶ原地区、小山南部地区の2地区において、用排水路等の整備計画策定の支援を行った。

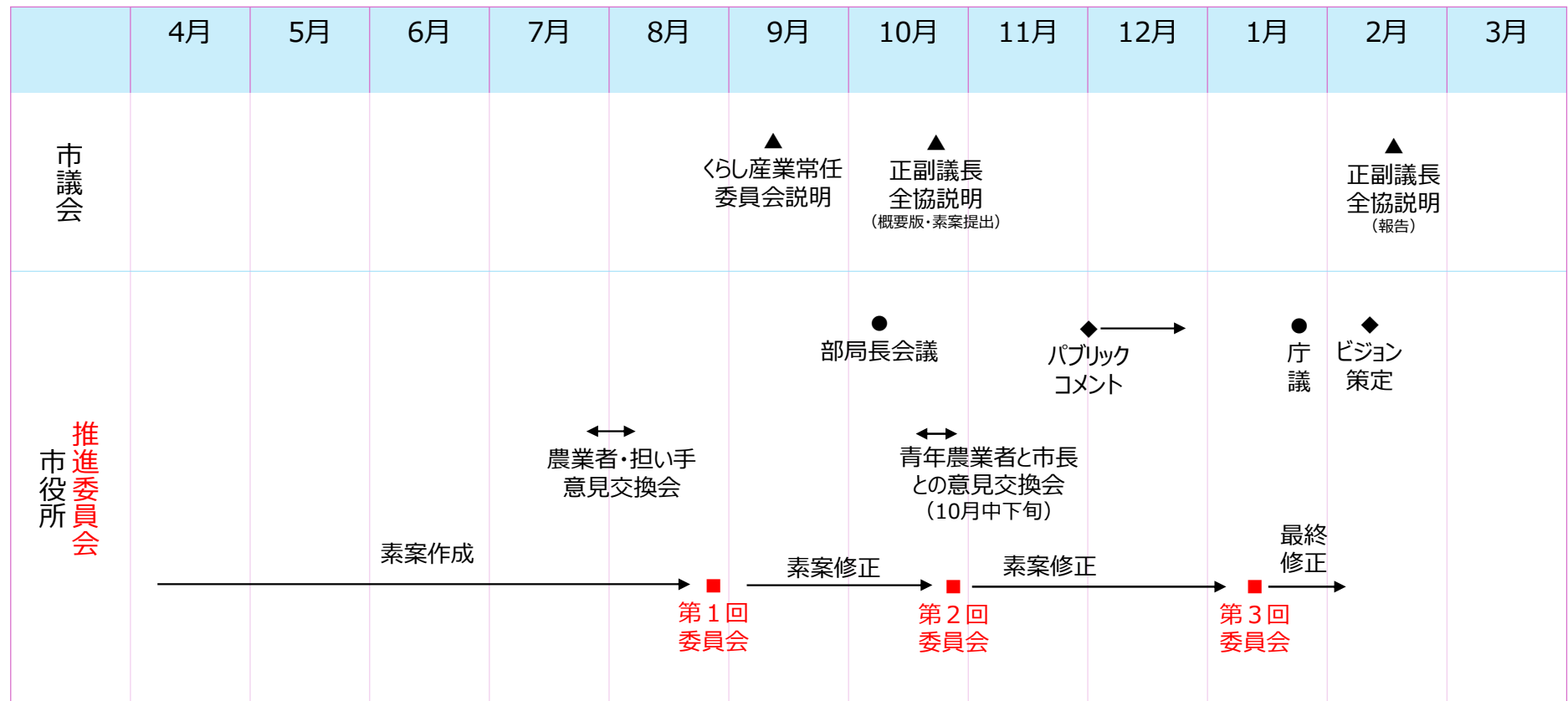
農業・食育に関する新たな計画策定スケジュール

【令和 8 年度】



新たな産業戦略（観光業、商工業）、健幸おおの 2 1 の策定と協調して進める

【令和8年度】



新たな産業戦略（観光業、商工業）、健幸おおの21の策定と協調して進める

新たな「越前おおの型 食・農業・農村ビジョン」にかかる委員の意見

氏 名	明間 基生 委員
住 所	大野市友江 11-10（福井県奥越農林総合事務所）

【自由記載】

○分野 1 農業の振興について

- ・目標の設定として、アンケートでは「人材確保を不安視する担い手が多い」という現状に対して「農地集積率」だけで良いか。前回目標に掲げ、達成状況も高いスマート農機に関する目標も掲げることで人材不足に対するケアとすべきと思う。
- ・今後、基盤整備等を実施する地区においては、大区画圃場で省力的な栽培の導入に加えて、新たな高収益作物の栽培にも期待が寄せられており、既存の担い手の取り組みを支援するほか、新規就農者を受入れ育てる拠点（インキュベーションファーム型園芸団地）を構えて農場や機械調整施設を用意するといった仕組みを創設してはどうか。

○分野 2 儲かる農業の推進

- ・道の駅で農産物を販売するだけでなく、観光と絡めて生産現場の訪問や大野市の食・風土を体感ができる機会を作り、農産物の販売促進と大野市のイメージアップを図ってはいかがか。
- ・大野市には農業体験ができる場所や素材はあるが、観光客向けの観光農園開業にはノウハウや施設面に課題があるため、観光開園支援を行うとともに新たなプレイヤー探しを行ってはどうか。
- ・併せて、生産する農家や直売、体験農園の情報をまとめて発信し、相乗的に PRするのはいかがか。
- ・大野市のサトイモは福井県が誇るブランドであり、他に類を見ない貴重な農作物であるから、サトイモの生産が振興されるよう、戦略会議を定期的に開催していただけると良い。

○分野３ 農山村の振興

- ・移住やワーケーションで大野市に来てくれる方を農業と結び付け、例えば春や夏に一定期間大野市に滞在し、集落営農組織などで農作業を体験しながら、未経験者でも農業に参入しやすい環境を整備し、地域農業の担い手確保と移住定住の促進を図り、「農業人材循環モデル」としてはいかがか。
- ・移住者等の多様な人材が持つ情報発信力やデジタル技術、企画力を地域農業に取り込み、農業法人の経営発展や地域課題の解決につなげる「農業経営高度課人材モデル」として仕組みを構築してはどうか。

○分野４ 食守の振興

- ・学校給食の地場産野菜提供量については、供給量や価格が年ごとに変動するため、栄養教諭や市内の野菜生産者の意見を聞いて目標値の設定に反映させるべきと思う。

○施策Ⅰ 担い手農家の育成と支援について

- ・現在、JAと県が協働して「集落営農救援隊」を実施しているが、個々に条件や事情が異なり、成果を上げるのは大変難しい取り組みである。県も助力させていただくが、優先すべき集落を絞り、集落営農救援隊も活用して市職員の負担軽減を図られてはいかがか。

【農業・食育に関する新たな計画（素案）に対する担い手農家などの意見のとりまとめについて】

- ・農業・食育に関する新たな計画（素案）に関する意見交換会を、令和 8 年 8 月 8 日（土）に 2 回、9 日（日）に 1 回の計 3 回実施した。
- ・認定農業者や集落営農組織などの担い手農家（104 件）と農家組合長（121 件）に案内を送付し、23 名の参加があった。
- ・意見交換会を欠席した対象者には素案を送付し、アンケートの提出を依頼した。提出期限までに 17 件のアンケートの提出があった。

区 分	素案に対する意見・要望
【分野 1：農業の振興】	
認定農業者（個人）	スマート農業の推進により、環境に配慮した農業が置き去りにされつつある。食を大切にするためには、無農薬・無化学肥料の農地を増やしていく必要がある。女性が農業に従事する上でも農薬を使わない安全な農業を支援することは重要である。
認定農業者（個人）	人材が不足する中、海外からの農業従事者が働きやすい環境を用意することも有効だと思われる。
認定農業者（集落営農組織）	スマート農業の推進は必要だが、見せる機会をつくり、実感として良さを知ることが大事である。そして、支援をもっと手厚くする必要がある。
認定農業者（集落営農組織）	通年を通じた安定経営が必要だが、雪の影響で冬は仕事がないのが問題である。
認定農業者（集落営農組織）	先日、JA 福井県がコシヒカリ玄米の概算金を 17,000 円と発表したのが、農林水産省が以前から公表している玄米のコストの指標価格 20,535 円を大きく下回ったことを「現状と課題」に加えたかどうか。
集落営農組織	後継者の斡旋および育成が必要である。
農家組合長	農家は生産コストの負担が大きく、毎月の生活費を他の仕事に頼らざるを得ない現実がある。会社組織的な大規模経営に変えていく必要がある。
農家組合長	法人化ができない小規模農家の負担を低減する共用ドローンサービスや IoT を活用した水管理などのアシスト事業、休耕田の利活用施策など JA と自治体が連携した米以外的大豆・向日葵・油菜などの食材生産事業の展開など、一次産業と二次産業の 3 K を低減し、各利害関係者が winwin になる施策を具体化していただきたい。
農家組合長	中小規模農家の再生支援の施策の方向性が、大規模化に向かうことであるならば、中小規模農家が担っている多様な作物の生産は必ず維持できなくなる。それが生き残り策なら大野型農業の「大野市が持つ豊かな農地や自然環境などさまざまな資源と、それらを生かし育まれた農林水産物を、多様な担い手が、助け合い、支えあい、思いやる「結の心」で守り育てながら進める農業」を「大野市が持つ豊かな農地や自然環境などさまざまな資源を生かし育まれた農林水産物を、守り育てながら進める農業」に変更した方が良い。
農家組合長	中小規模農業の支援には細かいサポート、情報提供支援が必要ではないか。農業者が各支援事業を十分に理解して活用できるように細かいサポートのできる組織を構成してほしい。
農家組合長	後継者や新規就農者の確保が重要だが、一番難しい。 その理由として、①儲からないこと②定期的な休みが取れないブラックなこと③スマート農機を導入したとしても採算・技術が追いつかないこと④ぽっと始めてできる仕事ではないことと多様である。農業で生計を立てることは価格変動がある中で容易ではない。 高齢の従事者として、年々体力・気力の低下する中、ギリギリの状態である。後継者が見つからない中、どんな方策を考えても継続は難しいと思う。
農家組合長	中小規模農家は、主要な機械が壊れたら離農するだろう。機械が高すぎるので、中古の機械の購入に対する支援がほしい。
農家組合長	離農が進む中、今ある資源をいかに活用するか考える必要がある。サトイモも生産者の高齢化でますます減るだろう。過疎化の時代なので、営農公社のようなものを作ることも必要ではないか。

区 分	素案に対する意見・要望
【分野２：儲かる農業の推進】	
認定農業者（法人）	農業者に対する所得支援や米価の安定に対する取組が必要である。
認定農業者（集落営農組織）	所得向上のために、果物など今までなかったものでも作れる新規作物の推進もあっていいのではないか。
担い手	大野市外への農産物物流・販売の支援がほしい。
農家組合長	里芋の支援はありがたいが、手間がかかり人手が必要なのが課題である。（特に収穫から出荷作業）
【分野３：農山村の振興】	
認定農業者（個人）	耐用年数が経過した農業施設が課題視されているが、近年の気候から用排水路の維持管理は最重要課題だと考えられる。新たな土地改良の前に、既存の給排水の整備に取り組んでいただきたい。
担い手農家	土地改良による農地区画の大区画化が必要である。
担い手農家	中山間地域への農地維持活動に対する支援が必要である。
農家組合長	農業を農業者だけで支えるのではなく、市民、企業、学生、移住者など多様な人が農業や農村に関われる仕組みづくりに対するサポート制度の創設を提案したい。
農家組合長	空き家や学校跡地などの遊休施設を活用し、農業体験、農産物加工、食、宿泊、交流などを組み合わせた農村拠点をつくることで、農業を観光や地域づくりにもつなげてはどうか。
農家組合長	「農業を守る」だけではなく、農村そのものに人が訪れ、仕事が生まれ、若い世代が関わりたくなるビジョンにしてほしい。
農家組合長	当区において、現状水田は地区の担い手農家に委託している。 しかし、集落内の戸数も減少し、高齢者や女性のみ世帯などがあり実働できる世帯数が４から５世帯で、農地保全活動などが非常に困難な状況となっている。 ５年先の将来像が見えない様な状態の中で、行政区のあり方も合わせて考えてほしい。
農家組合長	市全体の課題や地域毎の課題などの取り組みを総合的に判断して行く必要を感じる。当地区の課題を上げると、農業用水の十分な確保が難しくなっている。上流の地区に用水を取られてしまっ必要量の水が行き渡っていない。
農家組合長	町中の地区では耕作放棄地が増えており、景観が悪く、鳥獣類の通り道になっている。このため、鳥獣害が増えており、近隣農家が迷惑するので所有者に対し維持管理の指導など重点的な施策を取ってほしい。
【その他】	
認定農業者（集落営農組織）	ビジョンの評価指標について、前ビジョンより評価指標を減らした理由は何かあるのか？ 後期基本計画の評価指標と整合性を持たせたのかもしれないが、新たなビジョン独自の指標があってもよいのではないか？
集落営農組織	取り組みを継続してほしい。
農家組合長	前と同じではないか。
農家組合長	特になし。

令和 8 年度 越前おおの型食・農業・農村ビジョン推進委員会 (第 1 回)
アンケート

本日はお忙しい中ご参加いただきましてありがとうございました。
新たなビジョン素案に関するご意見・ご要望等がございましたら回答欄にご記入いただき、事務局までご提出ください。(回答期限：令和 8 年 9 月 1 8 日 (金))

※下記 QR コードまたは URL よりオンラインでの回答も可能です。



【<https://forms.gle/awqDVH8stpF3m84c7>】

氏 名	
住 所	

【自由記載】

ご回答ありがとうございました。

≪事務局≫市役所 1 階 窓口⑨
大野市農業林業振興課農業振興グループ
担当：銅、吉村
電話：0779-64-4818 FAX：0779-65-1424
Mail：norin@city.fukui-ono.lg.jp